

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営                    | 11  |
| 1. 理念の共有                       | 2   |
| 2. 地域との支えあい                    | 1   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2   |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 2   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1   |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 6   |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 11  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2   |
| 合計                             | 30  |

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

|       |                  |
|-------|------------------|
| 事業所番号 | 670400928        |
| 法人名   | グループホームふきのとう株式会社 |
| 事業所名  | グループホーム ふきのとう    |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 1 月 8 日  |
| 評価確定日 | 平成 21 年 3 月 4 日  |
| 評価機関名 | 山形県国民健康保険団体連合会   |

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月25日

【評価実施概要】

|               |                                         |       |           |
|---------------|-----------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号         | 670400928                               |       |           |
| 法人名           | グループホームふきのとう株式会社                        |       |           |
| 事業所名          | グループホーム ふきのとう                           |       |           |
| 所在地<br>(電話番号) | 山形県米沢市塩井町塩野2057番地<br>(電 話) 0238-21-5616 |       |           |
| 評価機関名         | 山形県国民健康保険団体連合会                          |       |           |
| 所在地           | 山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地                      |       |           |
| 訪問調査日         | 平成21年1月8日                               | 評価確定日 | 平成21年3月4日 |

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1)組織概要

|       |               |              |               |
|-------|---------------|--------------|---------------|
| 開設年月日 | 平成 15年 11月 7日 |              |               |
| ユニット数 | 2 ユニット        | 利用定員数計       | 18 人          |
| 職員数   | 16 人          | 常勤 16 人, 非常勤 | 人, 常勤換算 15.5人 |

(2)建物概要

|      |              |  |        |
|------|--------------|--|--------|
| 建物形態 | 併設／○単独       |  | ○新築／改築 |
| 建物構造 | 木造2階建て 造り    |  |        |
|      | 階建ての 階 ～ 階部分 |  |        |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                |             |
|---------------------|------------------|----------------|-------------|
| 家賃(平均月額)            | 30,000 円         | その他の経費(月額)     | 光熱費10,000 円 |
| 敷 金                 | 有( 円) ○無         |                |             |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円) ○無         | 有りの場合<br>償却の有無 | 有／無         |
| 食材料費                | 朝食               | 300 円          | 昼食 300 円    |
|                     | 夕食               | 300 円          | おやつ 100 円   |
|                     | または1日当たり 1,000 円 |                |             |

(4)利用者の概要(12月 1日現在)

|       |           |         |         |    |      |
|-------|-----------|---------|---------|----|------|
| 利用者人数 | 17 名      | 男性      | 3 名     | 女性 | 14 名 |
| 要介護1  | 5 名       | 要介護2    | 3 名     |    |      |
| 要介護3  | 5 名       | 要介護4    | 3 名     |    |      |
| 要介護5  | 1 名       | 要支援2    | 名       |    |      |
| 年齢    | 平均 84.2 歳 | 最低 77 歳 | 最高 91 歳 |    |      |

(5)協力医療機関

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 協力医療機関名 | しおいクリニック、平井医院、足立歯科、舟山病院 |
|---------|-------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者一人ひとりと関われる時間を大切に、利用者や家族の希望はできるだけ叶えたいと考えており、利用者の生まれ育った所まで出かけたり、利用者と家族の旅行に職員が同伴したりしながら、「利用者主体の生活」と「その人らしい暮らし」の実現に取り組んでいます。  
裁縫の得意な利用者が他の利用者の服を繕ってくれたり、趣味の絵画から遠ざかっていた利用者に今一度絵筆を握ってもらったり、何気ない日常の中からも、より良い刺激や変化が自然にもたらされる取り組みを進めているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

|       |                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)                                                                                        |
|       | 「地域密着型サービスとしての理念」については研修会の中でも話し合い、「地域住民の一員として生きていけるよう支援します」という内容が新たに加えられ、地域の中でその人らしく暮らし続けていくことを支えるサービスとしての理念となっている。         |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)                                                                                                 |
|       | 理事長、管理者、職員が協力し、項目ごとに日頃の取り組みを振り返りながら全員で自己評価を行っており、評価の意義も理解されている。                                                             |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)                                                                                  |
|       | 運営推進会議には利用者も多数参加し、3～4ヶ月ごとに開催されており、日常の活動内容、防災訓練、医療連携加算などの報告が行われている。また、会議の前に家族に案内を送って意見を募ること、会議の後に報告書を送って会議内容を伝えることにも取り組んでいる。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)                                                                                       |
|       | 面会時の話かけやアンケートを実施しており、行事などに関する家族の意見を運営にも反映させている。                                                                             |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)                                                                                                    |
|       | 保育園や小学校の行事、町内の行事(ビヤガーデン・毘沙門様のお祭り等)に参加している。また、寺や池掃除などの地域活動には職員も参加して、地元の人々との交流を図っている。                                         |

## 2. 評価結果(詳細)

( ☐ 部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                             | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |                                                                                         |                                                                                                                             |      |                                   |
| 1. 理念と共有              |    |                                                                                         |                                                                                                                             |      |                                   |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 「地域密着型サービスとしての理念」については研修会の中でも話し合い、「地域住民の一員として生きていけるよう支援します」という内容が新たに加えられ、地域の中でその人らしく暮らし続けていくことを支えるサービスとしての理念となっている。         |      |                                   |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | ホーム内への理念の掲示、研修会・申し送り・ミーティングの際の確認、カンファレンスでの振り返りが行われている。また、職員が作詞/作曲した「みんな家族」の歌詞の中にも理念が盛り込まれ、管理者と職員で理念を共有している。                 |      |                                   |
| 2. 地域との支えあい           |    |                                                                                         |                                                                                                                             |      |                                   |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 保育園や小学校の行事、町内の行事(ビヤガーデン・毘沙門様のお祭り等)に参加している。また、寺や池掃除などの地域活動には職員も参加して、地元の人々との交流を図っている。                                         |      |                                   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |                                                                                         |                                                                                                                             |      |                                   |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 理事長、管理者、職員が協力し、項目ごとに日頃の取り組みを振り返りながら全員で自己評価を行っており、評価の意義も理解されている。                                                             |      |                                   |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には利用者也多数参加し、3~4ヶ月ごとに開催されており、日常の活動内容、防災訓練、医療連携加算などの報告が行われている。また、会議の前に家族に案内を送って意見を募ること、会議の後に報告書を送って会議内容を伝えることにも取り組んでいる。 |      |                                   |

山形県 グループホームふきのとう

| 外部              | 自己 | 項 目                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                            |
|-----------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | スプリンクラーの設置や体験入所についての相談などで市役所に出向いており、また、相談員の派遣を受け入れて、サービスの質の向上に取り組んでいる。                         |      |                                                              |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |                                                                                                   |                                                                                                |      |                                                              |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                           | 担当者が記載した書面による暮らしぶりの報告、立替払いの領収書やレシートによる金銭出納の報告、電話連絡による健康状態の報告など、個々にあわせた報告がそれぞれの家族になされている。       |      |                                                              |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                             | 面会時の話かけやアンケートを実施しており、行事などに関する家族の意見を運営にも反映させている。                                                |      |                                                              |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている          | 異動時には利用者には挨拶をして理解を得るようにしている。また、新しい職員とペアを組みながら申し送りを行うこと、利用者との関わりの場を設けることによって、馴染みの関係が築けるようにしている。 |      |                                                              |
| 5. 人材の育成と支援     |    |                                                                                                   |                                                                                                |      |                                                              |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 職員の段階や希望に応じた研修への参加、研修会の報告や資料の回覧、職員間の情報共有などにより、職員を育てる取り組みが進められている。                              |      |                                                              |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 置賜地区グループホームブロック会議に参加し、情報交換や意見交換等を行なっている。                                                       | ○    | 現在の取り組みに加え、管理者の意向や職員の希望をより反映させながら、同業者との交流を更に深めていく取り組みも期待したい。 |

| 外部                                 | 自己 | 項 目                                                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                    | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 12                                 | 26 | <b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b><br>○馴染みながらのサービス<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)                                                                               |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                                              | 思いを共有したり、生活の知恵を教えもらいながら、学んだり支えあう関係を日々の暮らしの中で築いている。                                                 |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                                                   | 一緒に生活し会話を多く持ちながら、また、困難な方の場合は表情や様子から把握に努めている。それぞれの思いや意向を把握することにより、生まれ育った所まで出かけたり、家族旅行に職員が同伴したりしている。 |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |                                                                                                                                |                                                                                                    |      |                                   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している                                | 職員間で話し合いを行い、往診時には医師の意見も聞きながら、本人や家族の意見を反映させた介護計画書を作成している。                                           |      |                                   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している                            | 3ヶ月ごとの見直しを行っており、心身の状態に変化が生じた場合には、その都度の見直しも行われている。                                                  |      |                                   |

山形県 グループホームふきのとう

| 外部                          | 自己 | 項 目                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                           | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |                                                                                                         |                                                                                                           |      |                                   |
| 17                          | 39 | 【小規模多機能型居宅介護のみ】<br>○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、<br>事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして<br>いる              | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)                                                                                      |      |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |                                                                                                         |                                                                                                           |      |                                   |
| 18                          | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医<br>と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け<br>られるように支援している                         | かかりつけ医に関する本人や家族の意向の尊重、ホー<br>ムに隣接した協力医療機関の確保、受診の際の支援<br>など、適切な医療がいつでも受けられるようにしてい<br>る。                     |      |                                   |
| 19                          | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、でき<br>るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり<br>つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有<br>している | 重度化した場合や終末期の方針については、医師や<br>家族、理事長、管理者で繰り返し話し合いを行い、その<br>内容は職員にも伝えながら、全員で方針が共有される<br>ようにしている。              |      |                                   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援   |    |                                                                                                         |                                                                                                           |      |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |                                                                                                         |                                                                                                           |      |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                 |    |                                                                                                         |                                                                                                           |      |                                   |
| 20                          | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言<br>葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし<br>ていない                              | 職員は利用者に不快を与えないような言葉がけをし<br>ており、穏やかにやさしく接している。また、個人情報に<br>ついては事務室内に保管されており、日誌の記載時も<br>利用者の目に触れないよう配慮されている。 |      |                                   |
| 21                          | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一<br>人ひとりのペースを大切に、その日をどのように<br>過ごしたいか、希望にそって支援している                | 起床、就寝、食事、お茶などの時間についての希望、<br>また、ドライブや買い物に出かけたいといった要望な<br>ど、利用者の声にできるだけ応えながら、個別対応を<br>重視した支援が行われている。        |      |                                   |

山形県 グループホームふきのとう

| 外部                            | 自己 | 項 目                                                                                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                       | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |                                                                                                    |                                                                                                                                       |      |                                   |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                       | 収穫した野菜と一緒に調理したり、盛り付けを行いながら、食事の準備や後片付けを利用者と職員と一緒にやっている。また、グループ毎に出かけるの外出、嗜好調査の結果を反映させた献立作成、メニューや雰囲気に合わせて食器やグラスの使用にも取り組まれている。            |      |                                   |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している                      | 「菖蒲湯」などで入浴が楽しめるように工夫しており、利用者の希望に添った入浴支援が行われている。また、入浴を拒む方にも、その人に合わせた声かけの工夫や「温泉外出」なども行われている。                                            |      |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |                                                                                                    |                                                                                                                                       |      |                                   |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている                    | 編み物、調理、畑仕事など、一人ひとりの力を活かせる場面が提供されており、裁縫の得意な方が他の利用者の服を繕ってくれたりしている。また、趣味の絵画から遠ざかっていた利用者に今一度絵筆を握ってもらい、過去に培ってきたものを活かし、楽しみにつなげる働きかけもなされている。 |      |                                   |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                                      | 天気の良い日は近くの小学校や保育園まで散歩に出かけ、途中の公民館や近所のお宅で、お茶や漬物をいただいている。また、一人ひとりの希望を大切に、ドライブや外出、故郷めぐり等を行い、希望に添った外出ができるよう支援されている。                        |      |                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |                                                                                                    |                                                                                                                                       |      |                                   |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。 | 玄関にはセンサー、チャイム、風鈴が設置され、ホームへの出入りがわかるようにしている。また、職員は利用者の行動パターンを把握しており、常に見守りも行いながら、鍵をかけずに安全に過ごせるケアに取り組んでいる。                                |      |                                   |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                         | 近隣の方々を回って「避難訓練ご協力をお願い」を配布する取り組みが進められている。また、地域の方の協力も得ながら、避難誘導訓練や通報訓練を年に2回行っており、今後は夜間の災害発生を想定した訓練を重点的に行うことも検討されている。                     |      |                                   |

山形県 グループホームふきのとう

| 外部                         | 自己 | 項 目                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                             | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |                                                                                                               |                                                                                                             |      |                                   |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 利用者の状態に合わせた形態の食事提供、苦手なものの代替食の提供、栄養士による定期的な助言、彩りの良い盛り付けの工夫、多種類の飲み物の用意などにより、食事や水分が十分に確保されるよう支援されている。          |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |                                                                                                               |                                                                                                             |      |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |                                                                                                               |                                                                                                             |      |                                   |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 畳やソファのある思い思いに居心地よく過ごせる共用空間になっている。また、壁に飾られた利用者の作品(絵画や手作りの着物)や日常の様子がわかる写真、各居室前に下げられた「正月飾り」などから、生活感や季節感も感じられる。 |      |                                   |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 使い慣れた化粧品や家具、椅子、冷蔵庫などを持ち込み、家族の写真や絵画も飾られた、その人らしい居室になっている。また、居室内のベッドの位置は、利用者の希望に応じた配置となるようにしている。               |      |                                   |